

■第2次財政健全化計画



ゆうゆうバス、高齢者がん検診など 「削減やめ、現制度の継続」を

一年金者組合が要望書提出

全日本年金者組合交野支部が、交野市に提出した要望書(要旨)は以下の通りです。

2010年1月29日

交野市長 中田仁公 様

全日本年金者組合 交野支部

要望書(要旨)

交野市は、昨年「交野市第2次財政健全化計画」を提示され、2010年度から実施されようとしています。近年、我慢の限界を超えた国の「社会保障費抑制」政策は高齢者の生活を直撃しています。今回の「財政健全化計画案」は、いっそう高齢者の生活悪化に拍車をかけるものといわなければなりません。

「ゆうゆうバス運行」は、年間17万人の市民が利用していて、優れた外出支援の施策と喜んでいますが、その事業を「見直す」という提示は、外出支援策を大きく後退させることとなり、高齢者や障害者・交通弱者の社会活動や参画を制約し、家庭内への「ひきこもり」を増大させる原因にもなります。

「高齢者のがん検診(70歳以上有料化)」は、健診抑制に直結し、健診の目的である「早期発見」の必要性からも逆行するもので、高齢者の「いのち」に関わる問題でもあります。

「斎場使用料補助」は、もともと交野市には斎場がなく、現行の補助を受けても他市よりはるかに高い斎場使用料を市民は負担しています。斎場問題が近い将来解決する見通しがあるならまだしも、それが無いままに補助金を廃止することは市民の負担を長期に渡り強いるもので、到底容認できるものではありません。また、核家族化がすすむなかで、高齢者は「せめて自分や配偶者の葬祭料は子どもたちに迷惑をかけたくない」と生活を切り詰め、つつましく暮らしています。高齢者の思いに背をむける「補助金廃止」と言わなければなりません。

交野市の財政が厳しい状況にあることは理解できます。しかし、自治体の役割は地方自治法にあるように「住民の安全・健康及び、福祉を保持する」ことにあります。

「交野市第2次財政健全化計画」にある①「ゆうゆうバスの台数削減と運行日の縮小」、②「70歳以上のがん検診の有料化」、③「斎場使用料補助の廃止」、の3項目について「計画案」を撤回し、是非とも現制度を維持・継続して頂くよう要望します。

確定申告

2月2日～26日まで
市役所(別館)で受付



確定申告をすることで、払いすぎた税金が戻る場合もあります。詳しくは、ご相談ください。

■期間

2月2日(火)～2月26日(金)

〈土・日・祝日除く〉

午前10時～11時30分、

午後1時～3時30分

市役所別館3階 中会議室

※ 体の不自由な方は、別館1階ロビーで受付できます。

(職員不在の時は、備付の電話で呼び出してください。)

※ 枚方税務署では、

3月15日(月)まで申告・相談を受付けています。

2月21日(日)・28日(日)も開庁しています。

3月議会の日程

月	日	曜	議会日程
2	22	月	議会運営委員会
3	1	月	本会議(初日)
	5	金	議会運営委員会 (意見書の取り扱い)
	8	月	本会議(一般質問)
	9	火	本会議(一般質問)
	10	水	本会議(一般質問)
	11	木	本会議(一般質問 予備日)
	15	月	予算特別委員会
	16	火	予算特別委員会
	17	水	予算特別委員会
	18	木	予算特別委員会
23	火	常任委員会	
24	水	常任委員会(予備日)	
26	金	本会議 (委員長報告・採決)	

※意見書・請願の提出締切は
19日(金)午前中です。

弁護士相談

☆日時 2月18日(木)
午後3時～5時

☆場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室)

順番等がありますので
事前にお電話ください。



☎892-0121(内線301)